



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月28日

上場取引所 東

上場会社名 SMK株式会社  
 コード番号 6798 URL <https://www.smk.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)池田 靖光  
 問合せ先責任者 (役職名)常務執行役員 (氏名)大垣 幸平 (TEL)03-3785-1111  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	42,491	△1.7	248	—	443	73.1	273	20.5
2019年3月期第3四半期	43,235	△4.4	△701	—	256	△86.3	227	△91.5

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 309百万円 (—%) 2019年3月期第3四半期 △295百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	42.38	—
2019年3月期第3四半期	34.36	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	55,678	28,480	51.2
2019年3月期	58,713	28,612	48.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 28,480百万円 2019年3月期 28,612百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	50.00	—
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2018年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しており、2019年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,000	△4.2	150	—	450	—	200	—	31.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	7,500,000株	2019年3月期	7,500,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,062,684株	2019年3月期	1,019,483株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	6,458,293株	2019年3月期3Q	6,608,686株

(注)自己株式数については、「株式給付信託(BBT)」制度に係る信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が保有している当社株式が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
受注及び販売の状況(市場別)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、米中貿易摩擦問題が小休止し、英国のEU離脱問題にも一定の進展が見られました。一方、混沌とする政治情勢の中で地政学リスクの要因も加わり、全体としては緩やかに景気が減速することになりました。米国経済が底堅く推移したものの、中国経済は米中貿易摩擦の影響により減速し、日本経済も低成長の域にとどまることになりました。

当電子部品業界におきましては、情報通信市場はスマートフォンの需要一巡や米中貿易摩擦の影響による需要減により低調に推移しました。また、車載市場は自動車の電子化が進展しましたが、世界的な自動車販売不振の影響を受け横ばいで推移しました。一方、IoT、メディカル・ヘルスケアなどの新市場は拡大基調にはありましたが、穏やかな成長にとどまりました。

このような状況の下、当社は積極的な新製品の投入と固定費削減に努めた結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は424億9千1百万円(前年同期比1.7%減)、営業利益は2億4千8百万円(前年同期は営業損失7億1百万円)となりました。経常利益は当第3四半期(10月～12月)は円安により為替差益3億3千9百万円を計上し、4億4千3百万円(前年同期比73.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億7千3百万円(前年同期比20.5%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

#### (C S 事業部)

コネクタは、車載市場では米中貿易摩擦の影響などによる中国を中心とした世界的な自動車販売不振の影響により伸長率が鈍化し、前年同期比で微減となりました。一方、情報通信市場においては、中国得意先のスマートフォン用は堅調に推移しましたが、米国得意先のスマートフォン・タブレット端末用が競合コネクタメーカーとの競争激化や得意先の販売不振などの影響を受け、前年を下回りました。産機・その他市場においては、ヘルスケア関連用が新興国向けの特需があったものの主力市場での普及の一巡により需要が減少し、前年を下回る結果となりました。

この結果、当事業の売上高は145億8千7百万円(前年同期比13.0%減)、営業利益は3億1千8百万円(前年同期比3.7%減)となりました。

#### (S C I 事業部)

リモコンは、米国得意先向けセットトップボックス用が順調に売上拡大し、前年を大きく上回りました。また、ユニットは、車載用カメラモジュールは順調に拡大しましたが住宅設備用が減少し、前年同期比で微減となりました。スイッチは、スマートフォン用が増え、前年を上回りました。一方、タッチパネルは、主力の車載用が液晶メーカーによるタッチパネルモジュール化の加速や、中国マーケットでの自動車販売減などの影響により、前年を割り込む結果となりました。

S C I 事業部全体ではタッチパネル事業の減少を、リモコン事業の拡大がカバーし、前年を上回る結果となりました。

この結果、当事業の売上高は276億5千2百万円(前年同期比5.6%増)、営業利益は1億9千1百万円(前年同期は営業損失5億8千8百万円)となりました。

#### (開発センター)

開発センターの主力事業の無線通信モジュールにおいて、Bluetooth®モジュールがプリンター用は順調に拡大しましたが、決済端末用は得意先生産機種種の切り替えにより売上減となりました。

この結果、当事業の売上高は2億1千7百万円(前年同期比18.4%減)、営業損失は2億1千6百万円(前年同期は営業損失3億5百万円)となりました。

なお、当セグメントでは新規無線モジュールと総務省から委託を受けた技術開発をベースとした実証実験を行いながら、IoT運用管理技術の来年度の事業化を目指しております。

## (2) 財政状態に関する説明

流動資産は、前連結会計年度末に比べて7.7%減少し、316億5千8百万円となりました。これは、現金及び預金が17億1千3百万円、原材料及び貯蔵品が10億4千万円減少したことなどによります。固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.7%減少し、240億2千万円となりました。これは、有形固定資産が9億9千4百万円減少し、投資その他の資産が6億2千3百万円増加したことなどによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて5.2%減少し、556億7千8百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて8.7%減少し、217億円となりました。これは、短期借入金が21億7千7百万円減少したことなどによります。固定負債は、前連結会計年度末に比べて13.1%減少し、54億9千7百万円となりました。これは、長期借入金が9億9千1百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて9.6%減少し、271億9千8百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ0.5%減少し、284億8千万円となりました。これは、為替換算調整勘定が1億5千3百万円減少したことなどによります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期連結累計期間の実績を勘案し、2019年7月29日に公表いたしました2020年3月期通期の連結業績予想を本資料において修正いたしました。なお、当該予想数値に関する事項は、本日(2020年1月28日)公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,889	9,175
受取手形及び売掛金	14,496	15,109
商品及び製品	3,477	3,035
仕掛品	854	834
原材料及び貯蔵品	3,739	2,698
その他	932	910
貸倒引当金	△106	△105
流動資産合計	34,283	31,658
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,435	5,593
機械装置及び運搬具（純額）	6,051	5,450
土地	6,001	5,990
その他（純額）	2,205	1,664
有形固定資産合計	19,693	18,699
無形固定資産		
その他	154	115
無形固定資産合計	154	115
投資その他の資産		
その他	4,622	5,245
貸倒引当金	△40	△40
投資その他の資産合計	4,582	5,205
固定資産合計	24,430	24,020
資産合計	58,713	55,678

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,301	5,743
短期借入金	14,263	12,086
未払金	1,491	1,560
未払法人税等	524	229
賞与引当金	623	329
その他	1,573	1,750
流動負債合計	23,778	21,700
固定負債		
長期借入金	4,601	3,610
役員退職慰労引当金	176	148
退職給付に係る負債	53	69
役員株式給付引当金	—	10
その他	1,491	1,657
固定負債合計	6,323	5,497
負債合計	30,101	27,198
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,996	7,996
資本剰余金	12,057	12,057
利益剰余金	14,597	14,507
自己株式	△4,313	△4,391
株主資本合計	30,338	30,170
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	297	522
繰延ヘッジ損益	△7	△7
為替換算調整勘定	△2,027	△2,180
退職給付に係る調整累計額	10	△23
その他の包括利益累計額合計	△1,726	△1,689
純資産合計	28,612	28,480
負債純資産合計	58,713	55,678

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	43,235	42,491
売上原価	36,822	36,024
売上総利益	6,413	6,466
販売費及び一般管理費	7,114	6,218
営業利益又は営業損失(△)	△701	248
営業外収益		
受取利息	30	41
受取配当金	51	50
不動産賃貸料	813	778
為替差益	360	-
その他	271	291
営業外収益合計	1,527	1,162
営業外費用		
支払利息	80	80
不動産賃貸原価	412	379
為替差損	-	462
その他	76	44
営業外費用合計	570	967
経常利益	256	443
特別利益		
固定資産売却益	53	55
投資有価証券売却益	195	-
ゴルフ会員権売却益	-	23
特別利益合計	249	78
特別損失		
固定資産売却損	0	18
固定資産除却損	82	40
投資有価証券評価損	90	0
その他	0	5
特別損失合計	172	65
税金等調整前四半期純利益	332	456
法人税、住民税及び事業税	292	145
法人税等調整額	△187	37
法人税等合計	105	182
四半期純利益	227	273
親会社株主に帰属する四半期純利益	227	273

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	227	273
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△179	224
繰延ヘッジ損益	2	△0
為替換算調整勘定	△217	△153
退職給付に係る調整額	△128	△34
その他の包括利益合計	△522	36
四半期包括利益	△295	309
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△295	309

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	C S 事業部	S C I 事業部	開発 センター	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,765	26,183	266	43,215	20	43,235
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	16,765	26,183	266	43,215	20	43,235
セグメント利益又は損失(△) (営業損失)	330	△588	△305	△564	△137	△701

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他部品事業、リース事業、不動産賃貸事業及び労働者派遣事業を含んでおります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	C S 事業部	S C I 事業部	開発 センター	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,587	27,652	217	42,457	34	42,491
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	14,587	27,652	217	42,457	34	42,491
セグメント利益又は損失(△) (営業利益)	318	191	△216	293	△45	248

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他部品事業、リース事業、不動産賃貸事業及び労働者派遣事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、2019年4月1日付で実施した組織再編に伴い、報告セグメントを従来の「C S 事業部」、「F C 事業部」、「T P 事業部」及び「開発センター」の4区分から、「C S 事業部」、「S C I 事業部」及び「開発センター」の3区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分及び算定方法に基づき作成しております。

## 3. 補足情報

受注及び販売の状況(市場別)

## ①受注実績

(単位:百万円、%)

市場別	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
情報通信	7,203	16.4	6,915	16.5	△288	△4.0
家電	16,752	38.0	16,373	39.2	△378	△2.3
車載	16,055	36.5	13,533	32.4	△2,521	△15.7
産機・その他	4,004	9.1	4,973	11.9	968	24.2
合計	44,015	100.0	41,796	100.0	△2,219	△5.0

市場別	(参考)前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	
	金額	構成比
情報通信	9,102	16.1
家電	22,210	39.1
車載	20,239	35.7
産機・その他	5,164	9.1
合計	56,717	100.0

## ②販売実績

(単位:百万円、%)

市場別	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
情報通信	7,246	16.7	6,782	15.9	△464	△6.4
家電	15,101	34.9	17,231	40.6	2,130	14.1
車載	15,246	35.3	13,832	32.6	△1,413	△9.3
産機・その他	5,640	13.1	4,645	10.9	△995	△17.6
合計	43,235	100.0	42,491	100.0	△743	△1.7

市場別	(参考)前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	
	金額	構成比
情報通信	9,464	16.4
家電	20,397	35.6
車載	20,338	35.4
産機・その他	7,185	12.6
合計	57,386	100.0